報道関係者 各位

2026 年 11 月 24 日
田中鉄工株式会社

共創パートナーとともに知恵と技術をつなぎ、未来の価値を共に創る

～新たな事業創造に向けて「Matching HUB Hokuriku 2026」に出展～

多くの出展社が田中鉄工の脱炭素技術および天然資源利活用術に注目

アスファルトプラントメーカーの田中鉄工株式会社（本社：佐賀県、代表取締役社長兼 CEO：村田満和）は、2026 年 11 月 18 日（水）・19 日（木）の 2 日間、北陸発の産学官金連携マッチングイベント「Matching HUB Hokuriku 2026」に初出展しました。



会場風景



当社の出展ブース



プレゼンテーション風景

「Matching HUB」は、北陸先端科学技術大学院大学が中心となって進める地方創生・地域活性化の取り組みです。「北陸地域の活性化を目指した新産業創出と人材育成」をビジョンに掲げ、2014 年度に始まりました。13 回目となる今回は、田中鉄工として初めて出展しました。

当社ブースでは、排出ガスから CO_2を直接回収し、道路舗装や農業に活用する「i-BECCUS」を中心とした脱炭素技術と、カシューナッツの殻から得られる天然由来の多機能オイル「CNSL（Cashew Nut Shell Liquid、カシューナッツ殻液）」の利活用を紹介しました。道路をはじめとするインフラ分野の脱炭素化をさらに進めるため、回収した CO_2や CNSL の活用の幅を広げるとともに、当社の技術や素材を生かした共創の可能性を探ることが、今回の出展の目的です。

会期中は 60 名を超える方々に当社ブースへお越しいただき、大学や企業の研究者の皆さまと意見を交わしました。研究者の皆さまの知見と当社の技術や素材を組み合わせることで、どのような用途が考えられるか、実用化に向けて何を検証すべきかなど、今後の連携を具体的に考えるきっかけとなりました。

今回の交流からどのような連携が生まれるかを楽しみにしながら、今後も大学や企業の皆さまと対話を重ね、新たな技術の開発や共同研究につなげてまいります。

■田中鉄工㈱とは

1918年(大正7年)創業のアスファルトプラントメーカー
アスファルト合材生産に関わる製品・サービスの提供をメイン事業として展開
本社： 佐賀県三養基郡基山町、国内拠点 15 カ所
資本金：9,000 万円　 売上高：82 億円　従業員：200 名

▼省庁等との連携事例
省庁・地方自治体・各種 SDGs 団体・民間企業等との連携事例（一部抜粋）
【経済産業省】
・経済産業省 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業の先進設備・システムに採択
・経済産業省 サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ 参画
・経済産業省 地域未来牽引企業 認定
・経済産業省 GX リーグ加盟 /「GX 率先実行宣言」 ゴールドグレード＆グリーン鋼材購入とグリーン鋼材製品納入
・経済産業省 令和 6 年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・FS 事業）採択

【環境省】
・環境省 令和 6 年度バリューチェーン全体での脱炭素化推進モデル事業参画
・環境省 30ｂｙ30 アライアンス参加

【内閣府】
・パートナーシップ構築宣言
・地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム加盟

【その他】
・国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 加盟
・長崎県大村市・北海道小樽市・福岡県大牟田市・佐賀県多久市と連携し、Roa(d)calSDGs Project を実施
・佐賀県多久市と 2050 ゼロカーボンシティ 包括連携協定を締結
・脱炭素チャレンジカップ 2026 日本 WPA 最優秀未来へのはばたき賞受賞
（ロードカル SDGs の取り組み）
・第 10 回「ものづくり日本大賞」にて九州経済産業局長賞受賞
（UCO を活用した GX アスファルトプラント）
・中小企業版 SBT 認定 / バイオサーキュラーエコノミー協議会加盟 / リグニン協会加盟
・福岡ソフトバンクホークス・サガン鳥栖・佐賀バルーナーズ　オフィシャルスポンサー
・脱炭素経営イニシアティブへ参画
・一般社団法人プラチナ構想ネットワークに入会
・佐賀県地域産業クラスター計画に参画
・立命館大学日本バイオ炭研究センター　「日本バイオ炭コンソーシアム」に加盟
・佐賀県「森川海人っプロジェクト」と森林づくり協定を締結

ホームページ：https://tanaka-iron-works.com